

生活直撃 台風で36時間の停電

気象コンサルタント 古川 武彦

(茨城県 79)

2019.9.15

台風15号が関東を直撃した。私の住む地域では、36時間以上の停電に見舞われた。テレビは見られない、水が出ない、トイレが使えない、冷蔵庫が機能しないなど、日常生活に大きな影響が出た。

今どうなっているのか、どのくらい続くのか知るすべはなく、ウロウロするばかり。防災無線の情報は時おりだった。

発電機を持っていたので、ネットで停電情報を見ると、細かい地域ごとの停電戸数のみで、欄外に「復旧に向けて作業を進めております」と

事務的な内容。住民にとって知りた
い情報が何一つ得られなかった。

今後は、臨時のピラ配布や、放送車の巡回など、電力会社と自治体を
中心としたさらなる連携が望まれ
る。

台風が通過した翌朝、千葉市まで
往復した。行きの高速道路はスムー
ズ。ところが帰りの夜間、一般道は
あちこちで停電。信号が点灯せず、
どこが交差点かまったく分からな
い。直進車が最優先、横からの車は
なかなか入れず、人の横断は命が
け。こんな停電に耐えられる蓄電池
やソーラー発電の導入などは考えら
れないだろうか。